

## 令和4年度における文化芸術振興関連施策（実績）

山口県文化芸術振興条例に基づき、「やまぐち文化芸術振興プラン」に掲げる文化芸術の振興のための取組を推進し、多様な主体と連携しながら、本県の「文化力」の向上に努めた。

### ◆文化財保護事務の移管

文化財を観光資源として積極的に活用し、観光振興につなげることを目的として、教育庁（社会教育・文化財課）が所管していた文化財保存・活用事務を知事部局（文化振興課）に移管した。

## 1 やまぐちの文化力を活かした交流の拡大

### ①【重点】多様な文化資源を活かした地域のにぎわい創出

地域の様々な文化資源を活用し、多くの人々を惹き付け、交流を促進し、地域のにぎわいを創出するほか、文化資源を活かしたMICE(マイス)誘致を促進するとともに、国内外の方に本県文化の魅力を発信し、文化芸術を通じた相互理解につなげる。

### ■第30回地域伝統芸能全国大会の開催

【決算額：28,712千円】

概要	「地域伝統芸能全国大会」を山口県で開催し、県内各地で受け継がれてきた伝統芸能を始めとし、国内外から招かれた伝統芸能の多彩な魅力を多く発信することで、次世代への継承に繋げる。
内容	<p>(1) 大会名 第30回地域伝統芸能全国大会 「地域伝統芸能による豊かなまちづくり大会やまぐち」</p> <p>(2) 開催期間 2022年(令和4年)10月8日、9日</p> <p>(3) 主催 第30回地域伝統芸能全国大会「地域伝統芸能による豊かなまちづくり大会やまぐち」実行委員会、山口県、山口市、一般財団法人地域伝統芸能活用センター</p> <p>(4) 会場及び主な内容 【メイン会場（KDDI 維新ホール）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○開催記念式典</li> <li>○表彰式（高円宮殿下記念地域伝統芸能賞、地域伝統芸能大賞、地域伝統芸能奨励賞、第30回地域伝統芸能全国大会記念特別賞）</li> <li>○伝統芸能公演</li> <li>○その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光情報コーナー</li> <li>・メダル制作者の作品展示（松尾藻風氏・松尾優子氏）</li> <li>・大会題字制作者の作品等展示（山本一遊氏）</li> </ul> </li> </ul>





■AI 活用地域伝統芸能観光体験コンテンツ化事業

【決算額：23,155千円】

概要	<p>AI 技術を活用した「わかりやすく親しみやすい」地域伝統芸能体験コンテンツを制作・活用し、担い手不足等の地域伝統芸能の課題に取り組むとともに、周遊案内アプリと連携することで県内観光を促進。</p>
内容	<p>(1) ゲーム性のある地域伝統芸能体験コンテンツ制作</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ AI 技術により、「鷺流狂言」のお手本と体験者の双方の「所作」を解析し類似度を採点する、ゲーム性のある体験コンテンツを制作</li> <li>○ 「第30回地域伝統芸能全国大会」で公表し、その後、県内3箇所に体験機器を設置</li> </ul> <p>《設置場所》 山口ふるさと伝承総合センター、シンフォニア岩国、ルネッサながと</p> <p>(2) 周遊案内アプリとの連携</p> <p>広告効果の高い周遊案内アプリに、制作コンテンツ設置施設と地域文化財を組み合わせた観光ルートを掲載し、観光客の県内周遊を促進</p>



■やまぐち文化プログラム推進事業

【決算額：9,442千円】

県・市・県文化連盟等が連携した実行委員会により、美術館を核とした地域連携による取組や地域文化を支える人材の育成支援・活躍機会創出等、本県の多彩な文化資源を活かしたプログラムを展開し、文化振興と観光交流人口の拡大につなげる。

(1) 美術館魅力発信プロジェクト

① デジタル技術を活用した文化資源の魅力向上・発信

概要	<p>県立の美術館の主な所蔵作品を多言語解説によりオンラインで国内外へ紹介し、誘客を図るとともに、来館者には展示作品以外についても大型モニターで鑑賞できる環境を整備</p>
内容	<p>(1) 県立美術館2施設の所蔵品のデジタルアーカイブ化を実施 (R3～)</p> <p>(2) やまぐちバーチャルアートミュージアムの運用 (R3～)</p> <p>デジタル化した所蔵作品を「雪舟と雲谷派」や「浮世絵」など5つのテーマごとに展覧会形式で公開するオンライン美術館の公開 (解説は英語、中国語、韓国語に対応)</p> <p>(3) やまぐちデジタルギャラリーの運用 (R3～)</p> <p>県立美術館2施設の所蔵作品を高精細デジタル画像で鑑賞できる大型モニターを両館に設置 (解説は英語、中国語、韓国語に対応)</p>

②美術館を核とした地域連携イベント

ア) 県立美術館

概要	美術館を核に周辺施設や民間等、地域と連携したアートイベントを開催
内容	<p><b>HEART</b>                  山口県美術展覧会に併せ、本県ゆかりのクリエイターを活用した企画等を実施                  &lt;実施体制&gt;ミュージアム・タウン・ヤマグチ実行委員会  <b>【事業内容】</b> <b>【参加者数：3,712人】</b></p> <p>1 志村信裕のワークショップ                  ・「色と光ー4つの色で表現される世界」(11月26日)                  小学校高学年を対象に、色を題材にしたワークショップを山口市中心商店街の店舗で地域と連携して開催                  ・「アートと動物」(11月27日)                  高校生以上の大人を対象に、志村氏の映像作品「見島牛」をテーマにしたレクチャー形式のワークショップを開催</p> <p>2 美術館情報発信コーナーの設置(11月15日～12月9日)                  山口市中心商店街の店舗の一角で、「5GVで探る山水長巻」(P10)や「やまぐちバーチャルアートミュージアム」(P5)の体験コーナーを設置するとともに、美術館展覧会などの情報発信を行い、地域交流を図った。</p>
容	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p><b>HEART協力企画</b>                  ◆令和元年度から令和3年度までに「障害者文化芸術作品等調査・発掘事業」で発掘した本県作家13名の作品110点を山口県立美術館で展示                  ◆日 時：令和4年11月15日～令和4年12月11日                  ◆会 場：山口県立美術館ロビー                  ◆来場者数：2,957人</p> <p><b>障害者支援課×HEART共同企画</b>                  アール・ブリュット with HEART vol. 2 (11月15日～12月11日)                  上記事業により見出された作家の作品を「ものづくりでつながるアートな山口」を目指すHEARTならではの演出で紹介。作品画像をプリントしたミニトートバッグを制作し展示・販売</p>

イ) 県立萩美術館・浦上記念館

概要	美術館を中心にアートを活用した地域連携イベントを開催
内容	<p><b>アート・フェスティバル2022</b>（8月6日～7日）</p> <p>美術館を核として、アートを活用した地域づくりや交流促進を目的とした地域密着型企画</p> <p>＜実施体制＞萩美まちなか交流実行委員会</p> <p>【事業内容】 <span style="float: right;">【参加者数：1,187人】</span></p> <p>1 特別対談「非対称へのまなざし」          中野信子氏（脳科学者）×唐澤昌宏氏（国立工芸館館長）          「未来へつなぐ陶芸 伝統工芸のチカラ展」の関連イベントとして、萩美術館・浦上記念館で対談を実施するとともに、リアルタイムでシンフォニア岩国会場にオンライン配信</p> <p>2 ワークショップ等          「体感アートコーナー みんなで『北斎』をつくろう」、「親子で学ぶ色のチカラ」、「イラストレーターってどんな仕事」、「自分だけのカラーペンをつくろう」、「浮世絵スタンプラリー」ほか</p>
容	<p><b>現在形の陶芸 萩大賞展VI</b>（1月2日～2月26日）</p> <p style="text-align: right;">【参加者数：1,286人】</p> <p>本県の重要な文化資源である「陶芸」をテーマに、地域で活躍する若手陶芸家や次代の指導者の育成等を目的とした全国公募展を開催</p> <p>＜実施体制＞現在形の陶芸萩大賞展VI実行委員会</p> <p>【応募・入賞状況】 応募者数：104人（うち入賞21人）          応募作品数：104点（うち入賞21点）</p>



(2) 総合芸術文化祭（分野別フェスティバル）

概要	音楽、文芸、生活文化等、多彩な分野にわたる文化団体による文化芸術活動の発表機会（コンクール、フェスティバル、展示会等）を設けるとともに、県民の文化芸術活動への参加を促進
内容	<p>【実施体制】やまぐち文化プログラム実行委員会</p> <p>開催時期：6月～3月（県内各地） 参加者数：17,698人</p>

## 【分野別フェスティバル】

	行事名(主催者)	開催日	開催地等	参加者数
1	第29回民謡コンクール大会 (山口県民謡連盟)	6月26日	佐波公民館 (防府市)	30人
2	第61回全日本吹奏楽コンクール山口県大会 (山口県吹奏楽連盟)	7月29日～31日 8月5日～7日	山口市市民会館(山口市) 周南市文化会館(周南市)	8,735人
3	山口県洋舞フェスティバル(モダンダンス部門) (山口県洋舞連盟)	8月7日	不二輸送機ホール (山陽小野田市)	575人
4	第77回合唱コンクール山口県大会 (山口県合唱連盟)	8月7日	シンフォニア岩国 (岩国市)	881人
5	第40回山口県書道連盟展 (山口県書道連盟)	9月9日～11日	防府市地域交流センター アスピラート(防府市)	165人
6	第35回全日本マーチングコンテスト山口県大会 (山口県マーチングバンド連盟)	9月19日	周南市鹿野総合体育館 (周南市)	76人
7	第70回山口県川柳大会 (山口県川柳協会)	誌上大会	—	468人
8	山口県ダンスフェスティバル (山口県ホールルームダンス連盟)	4月3日 10月2日	菊川アブリール(下関市) サンウイング熊毛(周南市)	150人
9	文化の輪をつなげる (山口県いけばな作家協会)	10月2日	秋吉台国際芸術村 (美祢市)	158人
10	第52回山口県邦楽大会 (山口県邦楽連盟)	10月23日	周南市文化会館 (周南市)	300人
11	第53回山口県母のコーラスフェスティバル (山口県母の合唱連盟)	10月23日	萩市民館 (萩市)	188人
12	第59回山口県俳句大会 (山口県俳句作家協会)	11月6日	下松市市民交流拠点施設 「ほしらんどくだまつ」(下松市)	753人
13	第61回山口県演劇祭 (山口県演劇協会)	11月12日～13日	宇部市文化会館 (宇部市)	165人
14	第14回山口県日本舞踊祭 (公社)日本舞踊協会山口県支部)	11月13日	周南市文化会館 (周南市)	901人
15	第58回山口県歌人協会短歌大会 (山口県歌人協会)	11月27日	周南市立德山駅前図書館 (周南市)	260人
16	第49回山口県芸術演奏会 (山口県音楽協会)	12月11日	下関市生涯学習プラザ DREAM SHIP(下関市)	136人
17	第67回山口県交響楽団演奏会 (山口県交響楽団)	12月11日	三友サルビアホール (防府市)	1,147人
18	第46回全日本アンサンブルコンテスト山口県大会 (山口県管楽アンサンブル連盟)	12月25日～27日	不二輸送機ホール (山陽小野田市)	2,360人
19	第17回山口県ハーモニカ演奏交流会 (山口県ハーモニカクラブ)	3月19日	不二輸送機ホール (山陽小野田市)	250人
			合計	17,698人

■その他の主要事業（「①【重点】多様な文化資源を活かした地域のにぎわい創出」関係）  
（単位：千円）

区 分	決算額	事業の概要
アーティスト・イン・レジデンス事業【秋吉台国際芸術村管理運営事業の一部】 （文化振興課）	（事業の一部）	国内外の若手アーティストを秋吉台国際芸術村に受け入れ、創作活動の支援及び地域交流活動を実施（滞在者数10人）
東部地域文化振興（国際交流）事業 （文化振興課）	554	県東部地域において、日米交流の促進と地域文化の振興を図るため、日米交流の深化に資する文化芸術活動に対し助成を実施（実績件数：2件）
文化財の調査指導費【文化財調査指導費の一部】 （文化振興課）	（事業の一部）	文化財指定に係る調査、保存及び活用に係る指導 ・木造聖僧坐像（伝恵慈和尚）を県指定有形文化財（彫刻）に指定
世界遺産の保全活用、情報発信等【文化財調査指導費及び地域とともに歩む文化財資源総合保存活用推進事業の一部】 （文化振興課）	（事業の一部）	世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の保全・活用、情報発信及び「錦帯橋」の世界遺産登録に向けた取組を実施 ・世界文化遺産の構成資産の修復・公開活用計画に基づく技術支援 ・「錦帯橋世界文化遺産登録推進協議会」による理解増進・情報発信（国際オンラインミーティングの開催等）
YAMAGUCHI MAGIC! プロモーション推進事業 （観光プロモーション推進室）	36,799	県観光キャッチフレーズ「YAMAGUCHI MAGIC!」のもと、やまぐちDMOを中心として、観光5大要素（絶景、温泉、歴史、体験、グルメ）を最大限活かした事業を展開するとともに交通関連事業者等の民間事業者と連携した取組を実施
フィルム・コミッションによる情報発信【観光プロモーション力強化事業の一部】 （観光プロモーション推進室）	1,207	◆県内撮影映画のロケ地マップを作成し、活用した誘客PR ◆Webサイトを活用した情報発信 ◆全国、県内市町のフィルム・コミッションとの連携及び情報交換
外国文化講座等の開催【山口県国際交流協会育成事業の一部】 （国際課）	（事業の一部）	県内の外国人住民等を講師として外国の文化について紹介し交流する講座をオンラインで開催 ・外国文化講座 等
きらめき活動助成事業 （（公財）山口きらめき財団）	—	県民の自主的・主体的な県民活動を支援
古文書講座・アーカイブズウィーク開催・歴史情報発信【地域とともに歩む文化財資源総合保存活用推進事業の一部】 （学校運営・施設整備室）	137	◆古文書講座（4講座・オンライン） ◆アーカイブズウィークの開催 ◆文書館Webサイト、SNSを活用した歴史情報発信 ◆オンライン歴史講座の開催（3回） ◆文書館研究紀要、文書館ニュースの刊行（年1回）

**② 【重点】日本を代表する画聖「雪舟」を活用した交流促進**

文化的・歴史的にも貴重な財産である山口ゆかりの画聖「雪舟」のブランド力を活かした取組等を通じ、国内外へ本県の文化芸術の情報発信を強化し、交流人口を拡大する。

**■「雪舟と狩野派」展の開催（県立美術館）**

概要	国宝・四季山水図（山水長巻）＜毛利博物館所蔵＞をはじめとする雪舟作品などを展示した展覧会を県立美術館において開催した。
内容	○名称 唐絵の系譜「将軍家の襖絵／雪舟と狩野派」 ○会期 9月16日～10月16日 ○関連イベント 入門講座「周文・雪舟・探幽 唐絵の系譜」

**■最先端技術による新たな芸術文化魅力創出事業**

**【決算額：5,000千円】**

概要	5G（第5世代移動通信システム）等の最先端技術を活用し、子どもや美術に興味関心が薄い層に訴求する山口の文化資源の新たな魅力を創出する。また、県立美術館を拠点として、広く県内に展開・波及することにより、美術館への誘客促進、県内周遊の拡大につなげる。
内容	<p>(1) 「5GVRで探る山水長巻」の公開</p> <p>○令和2年度に制作・公開した「5GVRで探る山水長巻」を県立美術館や県内文化施設等で公開（多言語対応：英語、中国語）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雪舟の代表作 国宝「四季山水図（山水長巻）」の世界に入り込んだような体験ができるVR（仮想現実）</li> <li>・「四季山水図」の見どころなどをCGにより解説する「解説パート」と水墨画の世界に入り込む体験ができる「体験パート」からなり、誰でも楽しめる内容</li> </ul> <p>＜県立美術館での公開＞ 特別展及びコレクション展の開催に合わせて公開</p> <p>＜サテライト展示＞ 県内の文化施設等でサテライト展示を実施</p> <p>(2) AR（拡張現実）動画解説の公開</p> <p>○県立美術館からの「帰路の寄り道」を提案し、県内の周遊促進につなげていくため、令和2年度に制作した水墨画関連の文化観光スポットのAR動画解説を常栄寺と龍蔵寺で公開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ARは、何十年に一度しか公開されない秘仏など、デジタル技術ならではの内容（多言語対応：英語、中国語）</li> </ul>

③ 文化芸術の情報発信

本県の文化芸術を国内外へ積極的に発信する取組を強化し、県内の文化芸術の魅力向上と、文化芸術を通じた交流人口の拡大を促進する。

■やまぐち文化プログラム推進事業（Cul-ちゃ やまぐち） 【決算額：2,053千円】

概要	文化プログラムのコンセプトに沿った文化施設での公演や文化イベント等を「協賛事業」として認証し、ロゴマークを付与するとともに、これを付与したイベントの情報をウェブページや情報誌を通じて一元的に発信
内容	<p><b>協賛事業</b> 189件（P8分野別フェスティバルを除いた事業数）</p> <p><b>情報発信</b></p> <p>○紙媒体：文化イベント情報誌「Cul-ちゃ やまぐち」（平成29年9月～）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公立文化施設、県内観光案内所、道の駅、商業施設、金融機関、学校、県外を含む旅行会社や県内各地の宿泊施設への配布</li> <li>・年2回発行 9月（第11号）、3月（第12号）（各2万部）</li> </ul> <p>○Web版：情報サイト「Cul-ちゃ やまぐち」（平成29年10月～）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Webページの運営（令和4年度アクセス数合計：51,674件）</li> <li>・自動翻訳機能を用いたホームページの多言語化（令和4年3月公開） 多言語対応（英語・簡体語・繁体語・韓国語・スペイン語・フランス語）</li> <li>・文化動画配信（Cul-Tube YAMAGUCHI） やまぐち文化動画配信事業「Cul-Tube YAMAGUCHI」の文化パフォーマンス動画や美術館所蔵作品の解説動画等を紹介</li> </ul>
容	<p>動画本数 26本（令和2年5月下旬から動画配信を順次開始）</p> <p>文化団体等 12本（作成動画6本、応募動画6本）</p> <p>美術館動画 14本（作成動画7本、萩美祭等のイベント動画7本）</p> <p>視聴回数 34,566回（令和2年5月～令和5年3月末までの全動画視聴回数の合計）</p>
	  

■やまぐち文学回廊情報発信事業

【決算額：372千円】

概要	<p>山口県の優れた文学資源を広く県内外にPRするため、「やまぐちの文学」や山口県ゆかりの文学者に関する情報を発信する。</p>								
内容	<p>① 「ふるさと文学ギャラリー」常設展・企画展（県立山口図書館との連携開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○常設展 「やまぐちの文学者たち」40人の作品等のパネル展示</li> <li>○企画展</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">企画展テーマ</th> <th style="text-align: center;">開催期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>河上徹太郎と中原中也 ～河上徹太郎生誕120年を記念して～</td> <td>令和4年4月28日～ 8月30日</td> </tr> <tr> <td>生誕140年、種田山頭火と〈やまぐち〉</td> <td>令和4年9月1日～ 令和5年1月20日</td> </tr> <tr> <td>没後10年、和田健の軌跡</td> <td>令和5年1月22日～ 4月27日</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○県政資料館におけるパネル展示 <ul style="list-style-type: none"> <li>・詩碑・歌碑・句碑・文学碑の写真・由来などを紹介</li> </ul> </li> <li>○情報誌、Webページ等の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報誌「Culーちゃ やまぐち」において、「やまぐち文学巡り」と題し、「やまぐちの文学者たち」を紹介。第11号（令和4年9月ー令和5年3月）では、宇野千代の紹介と各文学館等のイベント情報を紹介</li> <li>・Webページ「Culーちゃ やまぐち」において、各文学館等のイベント情報をPR</li> </ul> </li> </ul> <p>③ 調査・研究事業</p> <p>「やまぐちの文学者たち」に係る貴重な資料を次代につなげるため、主に閲覧困難な雑誌の調査・研究を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○事前調査、資料の状況調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県立大学郷土文学資料センター・県立山口図書館・中原中也記念館・山頭火ふるさと館・事務局で構成するワーキンググループによる対象の決定</li> <li>・令和4年度の調査対象は、県立山口図書館等所蔵の文芸雑誌『文芸風土』</li> </ul> </li> <li>○現地調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査対象となった文献の書誌情報等を現地調査</li> </ul> </li> <li>○整理・公表 <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象資料の現地調査結果を分析し、目録データを作成</li> </ul> </li> <li>○報告会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年9月25日に下関市立近代先人顕彰館（下関市）にて実施</li> <li>・対面とオンラインでの実施</li> </ul> </li> </ul>	企画展テーマ	開催期間	河上徹太郎と中原中也 ～河上徹太郎生誕120年を記念して～	令和4年4月28日～ 8月30日	生誕140年、種田山頭火と〈やまぐち〉	令和4年9月1日～ 令和5年1月20日	没後10年、和田健の軌跡	令和5年1月22日～ 4月27日
企画展テーマ	開催期間								
河上徹太郎と中原中也 ～河上徹太郎生誕120年を記念して～	令和4年4月28日～ 8月30日								
生誕140年、種田山頭火と〈やまぐち〉	令和4年9月1日～ 令和5年1月20日								
没後10年、和田健の軌跡	令和5年1月22日～ 4月27日								

	<p>④会員のPR機会の創出</p> <p>【実施体制】やまぐち文学回廊構想推進協議会（平成9年6月設立）          会長：中原 豊（中原中也記念館館長）          構成：本県ゆかりの文学者の顕彰団体・文学館11団体、関係8市、県関係6機関・団体</p>
--	---

■国民文化祭への派遣

【決算額：114千円】

概要	全国的な規模で文化活動を発表する場の提供等により、文化活動への参加意欲を喚起し、新しい芸能、文化の創造を促す。
内容	<p>○出演団体等に対する出演経費の補助</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅費及び楽器等の運搬費について1/2以内を予算の範囲内で補助</li> </ul> <p>【開催地】沖縄県（10月22日～11月27日）</p>

■中四国文化の集いへの派遣

【決算額：—千円】

概要	中四国9県の文化交流を実施することにより、文化活動の発表機会の拡充と文化意識の一層の高揚を図る。また、地域の歴史と風土から生まれた伝統文化を受け継ぐとともに、地域文化の活性化と文化団体相互の交流促進を図る。
内容	<p>○出演団体に対する出演経費の補助</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅費及び楽器等の運搬費について1/2以内を予算の範囲内で補助</li> </ul> <p>【開催地】高知県（10月10日）</p> <p>※出場辞退⇒「第30回地域伝統芸能全国大会」の直後の日程となっており、出場可能団体が見つからなかったため。</p>

■その他の情報発信

<p>○県文化振興課ホームページ「やまぐちの若き芸術家たち」</p> <p>国内外で活躍する山口県ゆかりの若手芸術家の情報を収集し、活動を紹介</p> <p>○SNSによる情報発信</p> <p>情報の拡散性が高いSNSを活用し、幅広い世代に向けて、本県の旬な文化情報を発信</p>
---

■その他の主要事業（「③文化芸術の情報発信」関係）

（単位：千円）

区 分	決算額	事 業 の 概 要
<p>県立文化施設における取組  <b>【各県立文化施設の管理運営事業の一部】</b>            （文化振興課）            （学校運営・施設整備室）</p>	（事業の一部）	<p>情報誌の発行等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆県立美術館：「天花」年2回発行</li> <li>◆県立萩美術館・浦上記念館：「萩」年4回発行</li> <li>◆県立山口博物館：               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「山口県立山口博物館だより」年10回発行</li> <li>・「バーチャル山口博物館」の充実</li> </ul> </li> <li>◆シンフォニア岩国：「ひびき」年6回発行</li> <li>◆秋吉台国際芸術村：「秋吉台国際芸術村通信 -AIAV News-」年4回発行</li> </ul>

		◆ルネッサながと：「文化情報誌」年3回発行 ホームページ、SNSを活用した情報発信
世界遺産「明治日本の産業革命遺産」インタープリテーションの推進【文化財調査指導費及び地域とともに歩む文化財資源総合保存活用推進事業の一部】 (文化振興課)	(事業の一部)	23の構成資産で効果的で一貫したインタープリテーション（理解増進・情報発信）の取組を実施 ◆国内外に向けた広報活動（フォトコンテスト開催、ミステリー小説の制作・公開、リーフレット制作） ◆ガイド研修会（5月18日、12月20日） ◆パネル展（6月6日～6月17日：県庁1階エントランスホール）等
世界遺産の保全活用、情報発信等【文化財調査指導費及び地域とともに歩む文化財資源総合保存活用推進事業の一部】〔再掲〕 (文化振興課)	(事業の一部)	世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の保全・活用、情報発信及び「錦帯橋」の世界遺産登録に向けた取組を実施 ・世界文化遺産の構成資産の修復・公開活用計画に基づく技術支援 ・「錦帯橋世界文化遺産登録推進協議会」による理解増進・情報発信（国際オンラインミーティングの開催等）
伝統工芸品情報発信等支援事業 (観光プロモーション推進室)	1,647	◆伝統的工芸品月間国民会議全国大会への出展 毎年11月を「伝統的工芸品月間」と定め、伝統的工芸品月間国民会議、同地区大会、図画・作文コンクール等、全国規模の記念式典、各種催事等に参加 ・会場：秋田アトリオン(秋田県) ・開催日：令和4年11月18日～11月20日 ◆全国伝統的工芸品展 大都市圏における伝統的工芸品の普及並びに需要開拓を目的として、東京で開催される伝統的工芸品展において展示・即売及び制作実演を実施 ・会場：松屋銀座 ・開催日：令和5年2月23日～2月28日
山口県戦略的情報発信推進業務【戦略的情報発信推進事業の一部】 (広報広聴課)	23,085	県の情報発信にマーケティングの視点を取り入れ、県の魅力を戦略的に情報発信 ◆外部専門人材による広報コンサルティング ◆広報コンサルティングに基づく情報発信

## 《取組の評価》（「1 やまぐちの文化力を活かした交流の拡大」関係）

- ・令和4年度の組織改編により、文化財を観光資源として積極的に活用し、観光振興につなげる取組を推進するため、教育庁（社会教育・文化財課）が所管している文化財保護事務を知事部局（文化振興課）へ移管した。
- ・このたびの移管を契機とし、県内外の伝統芸能団体が一堂に会する全国規模の催し「地域伝統芸能全国大会」を本県で初開催し、伝統芸能による地域の活性化に向けた機運醸成を図るとともに、担い手不足等の課題解決に向け、AI技術を活用したゲーム性のある地域伝統芸能体験コンテンツを制作し、伝統芸能に親しむ機会の創出に取り組んだ。
- ・美術館所蔵品のデジタルアーカイブ化を引き続き実施し、「やまぐちデジタルギャラリー」の充実を図ることで、デジタル技術を活用した美術館の魅力発信を行うとともに、美術館を核に周辺施設や商店街など地域と連携したアートイベントを実施し、美術館への誘客拡大や地域のにぎわい創出に取り組んだ。
- ・総合芸術文化祭（分野別フェスティバル）の実施団体が増加するなど、コロナ禍で大きく落ち込み、低下していた県民の文化芸術活動も、回復傾向が見られた。また、「東部地域文化振興事業」の実施により、国際交流の深化と合わせて、地域の特色を生かした文化芸術の振興を図った。
- ・文化イベント情報誌「Cul-ちゃ やまぐち」の配布及び同誌Web版による多言語化、「やまぐちバーチャルアートミュージアム」やSNS等の活用により、本県が誇る多彩な文化資源の魅力を国内外に情報発信するとともに、文化芸術活動への県民参加を促進した。
- ・今後とも、美術館等を核とした文化施策や、文化芸術とスポーツ・観光の連携、文化財の積極的な保存・活用など、多彩な文化資源を活かした取組の推進により、交流拡大を図る必要がある。